

「組合の歴史」

平成28年1月16日

熊本市役所第一職員労働組合は、本日1月16日に組合結成50周年記念レセプションを、歴代執行部を来賓にお招きし盛大に開催します。

自治労連構成組織に皆様も、ご多忙中にも関わらず、多くの方々にご臨席いただく予定です。

熊本市の給与や福利厚生は、この50年の組合活動の中で構築されてきました。この期間の中には、時には当局側と激論を交わし、時には組合員に支えられながら乗り越えた激動の時代もあったことだろうと思います。その度に当時の執行部が協力して最善の方法を模索してきたのでしょう。

今の私たちにも、時代と市民のニーズに合った変化が求められています。人員が削減される中で、いかにして市民サービスの質を落とさないように効率的に実務を行っていくのかを考える必要がある一方で、慢性化している超過勤務の縮小や、業務量の増大による心身疲労の改善などの課題にも対応していかなければなりません。

先輩方が築き上げてきた時代とは変化の度合いは比べるべくもないでしょうが、私たちがいる「今」も時代の変化の中なのだろうと思います。普段は執行部の皆さんに助けってもらってばかりで、微々たる力にしか慣れていない私ですが、ずっと先の誰かが再度組合の歴史を振り返った時に、こんな私でも組合の歴史の一部になっているのかもしれない。

労働組合の活動、特に役員となると「大変そう」、「難しそう」と敬遠する方がほとんどだろうと思います。しかし、思い切ってその輪の中に飛び込んでみると、いつか振り返った時に「あの時は、あの時代の流れの中で頑張った」と感慨深く思い返すことができるのではないかと思います。そして、その「今を頑張る」ことをサポートしてくれる仲間が組合には、いると思えるのです。

これからも皆さんと一緒に頑張っていきます。